

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	65.0%	自校A B層の割合	65.0%

目標達成に向けた取組			
3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 単元計画の中で、単級的活動を設定する。 ● 校内研究では、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指して、各学年から授業を提案し、協議や講師の助言から授業改善を図る。 ● 「学び合い」を重視し、授業の中で児童が交流する場を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 東京ベーシックドリルの診断テストを年3回実施する。診断テストを分析し、特に苦手な領域について復習する。 ● 朝学習や長期休業の宿題に、ドリルパークを活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「江戸川っ子study week!」時には、家庭でもドリルパークに取り組む習慣が身に付くように積極的な活用を促す。 ● 東京ベーシックドリルを学校・家庭学習で活用する。
特に支援が必要な児童・生徒への手立て	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分なりのめあてを設定し、主体的に学習に取り組めるようにする。 ● 自信をもって答えられる問題を作り、自己肯定感を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 放課後補習事業者と連携して「放課後ステップアップ教室」を実施する。 ● ドリルパークで苦手分野の復習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ドリルパークを家庭と協力して実施し、その成果について肯定的な評価をする。
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ● 全国学力調査「自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを作り出す活動を行っていましたか。」肯定的な回答70% 	<ul style="list-style-type: none"> ● 東京ベーシックドリル診断テスト8割達成者70% 	<ul style="list-style-type: none"> ● 全国学力調査「授業以外の勉強時間」1時間以上の割合80%